

サービス種類		A 病院	B 病院	C 病院	D 病院	E 病院	F 病院	G 病院	H 病院	J 病院	K 病院
D215	超音波検査	-	1.06	-	0.23	5.71	0.05	0.03	0.50	0.11	1.01
D216-2	残尿測定検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
D217	骨塩定量検査	-	0.46	-	-	0.04	-	-	-	-	-
D220	呼吸心拍監視	0.01	63.01	0.31	0.13	-	-	-	-	-	-
D223	経皮的動脈血酸素飽和度測定	0.16	-	0.09	0.04	-	-	-	-	-	-
D225	観血的動脈圧測定	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	1.10
D226	中心静脈圧測定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.27
D230	観血的肺動脈測定	-	-	-	-	-	-	-	11.52	-	-
D238	脳波検査判断料	-	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-
D242	尿水力学的検査	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
D243	喉頭鏡検査	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
D244	自覚的聴力検査	-	-	-	0.17	-	-	0.03	-	-	-
D247	他覚的聴力検査又は行動観察による聴力検査	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D250	平衡機能検査	-	-	-	0.13	0.00	-	-	-	-	-
D253	嗅覚検査	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	0.07
D255	精密眼底検査	-	-	-	0.13	0.02	0.01	0.00	-	0.10	1.01
D255-2	汎網膜硝子体検査	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
D256	眼底カメラ撮影	0.41	4.21	0.41	0.26	0.20	-	0.45	0.69	0.30	0.96
D257	細隙燈顕微鏡検査(前眼部及び後眼部)	-	-	-	-	0.00	-	0.00	-	-	-
D258	網膜電位図	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-
D261	屈折検査	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-
D263	矯正視力検査	-	-	0.02	-	-	-	0.07	-	-	-
D264	精密眼圧測定	-	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-
D265	角膜曲率半径計測	-	-	-	0.13	-	-	0.00	0.04	-	-
D267	色覚検査	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	-
D273	細隙燈顕微鏡検査(前眼部)	0.53	0.03	-	0.00	0.01	-	0.01	-	0.02	-
D277	涙液分泌機能検査	-	-	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.02
D279	角膜内皮細胞顕微鏡検査	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-
D286	肝及び腎のクリアランステスト	-	-	0.06	0.04	-	0.97	-	-	0.16	1.58
D287	内分泌負荷試験	-	-	-	0.42	-	-	-	-	-	-
D288	糖負荷試験	0.05	0.15	0.09	0.04	0.21	0.06	0.02	0.07	0.03	0.24
D289	その他の機能テスト	-	-	0.56	0.14	0.26	-	0.25	0.11	-	-
D291	皮内反応検査	0.12	-	-	0.05	0.26	0.30	0.06	0.08	0.08	-
D293	シンテグラム	-	-	-	-	-	-	-	-	0.36	-
D294	ラジオアイソトープ検査判断料	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-
D295	関節鏡検査(片側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.01
D296	喉頭直達鏡検査	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	-

サービス種類		A 病院	B 病院	C 病院	D 病院	E 病院	F 病院	G 病院	H 病院	J 病院	K 病院
D298	嗅裂部・鼻咽喉・副鼻腔 入口部ファイバースコープ (部位を問わず一連につ き)	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	0.03
D299	喉頭ファイバースコープ	-	-	-	0.01	0.05	-	-	0.10	0.02	0.04
D300	中耳ファイバースコープ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-
D301	気管支鏡検査	-	0.34	-	-	-	-	-	-	-	-
D302	気管支ファイバースコープ	0.73	1.78	0.05	0.73	0.18	-	0.23	0.30	0.69	0.89
D303	胸腔鏡検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.68
D306	食道ファイバースコープ	-	-	0.27	-	-	-	-	-	0.32	0.32
D308	胃・十二指腸ファイバース コープ	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
D310	小腸ファイバースコープ	-	-	-	0.16	-	-	-	-	-	0.20
D311	直腸鏡検査	-	0.04	-	0.02	0.02	0.01	-	-	-	0.10
D312	直腸ファイバースコープ	-	-	-	-	-	-	0.78	0.23	-	0.60
D313	大腸ファイバースコープ	2.38	2.70	1.41	0.15	1.74	2.25	0.61	0.67	0.43	1.51
D317	膀胱尿道ファイバースコー プ	-	0.47	0.11	0.10	0.13	0.32	-	0.06	0.04	0.36
D319	腎盂尿管ファイバースコー プ	-	-	-	0.61	-	-	-	-	-	-
D320	ヒステロスコピー	-	-	-	-	-	-	0.30	-	-	-
D322	子宮ファイバースコープ	-	-	-	0.01	-	-	-	-	0.23	-
D400	血液採取	0.70	-	0.15	-	0.11	0.07	0.05	0.33	0.11	-
D402	後頭下穿刺	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
D403	腰椎穿刺	-	-	0.03	0.02	0.03	-	-	0.02	0.02	0.12
D404	骨髄穿刺	-	-	-	-	0.03	0.01	0.02	0.08	0.02	0.23
D405	関節穿刺	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.01	-
D409	リンパ節等穿刺又は針生 検	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.17
D410	乳腺穿刺又は針生検	-	-	-	0.01	-	-	-	0.04	-	0.28
D411	甲状腺穿刺又は針生検	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-
D412	経皮的針生検法	0.04	-	-	0.02	0.04	0.08	-	-	-	0.27
D413	前立腺針生検法	-	-	0.02	0.04	-	0.23	0.11	0.06	-	1.23
D414	内視鏡下生検法	-	0.04	0.29	0.31	1.49	-	-	-	0.01	-
D415	経気管肺生検法	-	-	0.08	0.04	-	-	-	-	-	0.96
D417	組織試験採取、切採法	-	-	0.09	0.03	-	0.05	0.11	0.05	0.01	3.70
D418	子宮腔部等よりの検体採 取	-	-	-	0.01	-	-	0.05	-	-	-
D419	その他の検体採取	0.02	-	0.03	0.02	-	0.04	-	-	0.02	0.36

3.2.2.3. 検査部門・外注費等価係数

図表 3-23 サービス種類別医療機関別等価係数一覧（検査部門・外注費）

注1：各セルには、特定サービス種類（ここではD018 細菌培養同定検査等）を1とした場合の比率を表示。

注2：“-”は数値のない項目を表す。

サービス種類		A 病院	B 病院	C 病院	D 病院	E 病院	F 病院	G 病院	H 病院	J 病院	K 病院
D000	尿中一般物質定性半定量検査	0.33	0.24	0.50	0.93	1.19	0.79	0.77	1.24	1.16	-
D001	尿中特殊物質定性半定量検査	0.55	0.14	0.14	0.81	0.49	0.36	0.16	0.44	0.21	1.63
D002	尿沈渣顕微鏡検査	0.17	0.19	0.19	0.24	0.20	0.18	0.19	0.16	0.18	-
D003	糞便検査	0.32	0.36	0.54	0.30	0.51	0.39	0.39	0.27	0.43	0.94
D004	穿刺液・採取液検査	-	0.62	0.58	0.73	0.62	0.54	0.58	0.41	0.55	1.13
D005	血液形態・機能検査	0.43	0.31	0.27	0.26	0.43	0.20	0.21	0.10	0.21	2.49
D006	出血・凝固検査	0.44	0.28	0.24	0.33	0.65	0.25	0.25	0.53	0.22	2.57
D007	血液化学検査	0.67	0.15	0.43	0.17	0.63	0.22	0.58	0.20	0.61	1.88
D008	内分泌学的検査	1.72	1.30	1.54	1.54	2.00	1.13	1.40	1.02	1.27	2.30
D009	腫瘍マーカー	1.20	1.32	1.62	1.59	2.02	1.01	1.36	1.15	1.42	2.31
D010	特殊分析	-	-	1.58	1.43	2.87	-	1.40	0.93	1.54	7.19
D011	免疫血液学的検査	0.90	0.24	0.20	0.25	0.46	0.19	0.21	0.27	0.20	3.68
D012	感染症血精反応	0.64	0.33	0.66	0.50	0.52	0.19	0.59	1.61	0.46	2.62
D013	肝炎ウイルス関連検査	1.83	1.20	2.02	1.52	1.55	1.06	1.06	1.20	2.82	2.51
D014	自己抗体検査	1.15	1.60	0.76	1.88	1.46	1.43	0.90	1.69	1.07	2.32
D015	血漿蛋白免疫学的検査	0.34	0.39	0.35	0.26	0.29	0.16	0.20	0.35	0.26	2.06
D016	細胞機能検査	-	-	-	-	-	9.19	5.06	7.03	6.05	4.75
D017	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査	0.89	0.16	0.38	0.21	0.18	0.15	0.15	0.12	0.17	-
D018	細菌培養同定検査等	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
D019	細菌薬剤感受性検査	0.98	1.09	1.06	1.88	1.41	1.12	1.10	1.32	1.11	1.43
D020	抗酸菌分離培養検査	1.14	1.08	1.03	1.43	1.16	1.00	1.05	1.26	1.10	1.91
D021	抗酸菌同定検査	-	-	-	2.56	-	-	-	-	1.96	-
D022	抗酸菌薬剤感受性検査	1.47	-	-	2.35	-	1.68	-	-	-	2.81
D023	微生物核酸同定・定量検査	5.39	3.62	3.99	3.57	4.45	3.58	3.54	3.54	2.51	7.55

3.2.3. 画像診断部門

3.2.3.1. 画像診断部門・給与費等係数

図表 3-24 サービス種類別医療機関別等価係数一覧（画像診断部門・給与費）

注1：各セルには、特定サービス種類（ここでは E200 コンピューター断層撮影）を 1 とした場合の比率を表示。

注2：“-” は数値のない項目を表す。

サービス種類		A 病院	B 病院	C 病院	D 病院	E 病院	F 病院	G 病院	H 病院	J 病院	K 病院
E000	透視診断	0.59	3.00	4.60	1.11	9.76	3.30	2.12	11.16	1.21	1.12
E001	写真診断	0.20	0.75	0.30	1.11	1.45	0.22	-	2.62	0.01	-
E002	撮影	0.50	0.75	0.30	0.33	1.00	2.00	-	3.00	0.02	0.48
E003	造影剤注入手技	2.28	3.00	1.09	0.28	1.95	41.37	0.62	63.66	0.03	-
E004	基本エックス線診断料	-	-	0.30	-	-	-	-	-	-	-
E100	シンチグラム(画像を伴うもの)	-	-	-	-	3.00	-	-	-	0.19	-
E101	シングルホトンエミッション コンピューター断層撮影	-	-	-	-	3.00	-	-	-	0.05	-
E101-2	ポジトロン断層撮影	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.28
E102	核医学診断	-	-	-	-	2.91	-	-	-	0.04	-
E200	コンピューター断層撮影	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
E201	非放射性キセノンの脳血 流動態検査	-	-	4.00	1.33	-	-	-	-	-	-
E202	磁気共鳴コンピューター 断層撮影	2.00	1.00	0.97	1.33	2.00	2.00	1.84	2.50	0.33	0.64
E203	コンピューター断層診断	0.99	0.87	-	2.23	2.91	1.10	-	13.10	0.49	-

3.2.3.2. 画像診断部門・材料費等価係数

図表 3-25 サービス種類別医療機関別等価係数一覧（画像診断部門・材料費）

注1：各セルには、特定サービス種類（ここではE200 コンピューター断層撮影）を1とした場合の比率を表示。

注2：“-”は数値のない項目を表す。

サービス種類		A 病院	B 病院	C 病院	D 病院	E 病院	F 病院	G 病院	H 病院	J 病院	K 病院
E001	写真診断	0.01	0.24	-	0.36	-	-	-	0.03	-	0.06
E002	撮影	0.16	0.47	0.33	0.40	0.55	0.13	0.17	0.69	0.13	0.40
E003	造影剤注入手技	0.46	0.16	0.44	0.91	0.13	0.81	0.52	1.69	1.37	0.53
E004	基本エックス線診断料	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-
E100	シンチグラム(画像を伴うもの)	-	-	-	-	2.14	-	-	0.85	1.87	2.22
E101	シングルホトンエミッション コンピューター断層撮影	-	-	-	-	3.81	-	-	0.87	3.12	3.79
E200	コンピューター断層撮影	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
E201	非放射性キセノンの脳血 流動態検査	-	-	0.98	1.81	-	-	-	-	-	-
E202	磁気共鳴コンピューター 断層撮影	0.37	0.89	0.86	0.86	1.10	0.85	0.72	0.92	0.95	0.93
E203	コンピューター断層診断	0.03	0.03	0.00	0.05	0.00	0.06	0.01	0.04	0.01	-

3.3. 配賦基準の変更による収支計算結果への影響に関する分析

3.3.1. 二次配賦基準における配賦方法の比較

3.3.1.1. 補助・管理部門（全体）の配賦係数の変更

二次配賦は、補助・管理部門の費用を入院部門と外来部門、中央診療部門に配賦を行う段階であるが、平成16年度調査研究では、平成15年度調査研究と比べて、入院部門、外来部門及び中央診療部門への配賦について、より多くの配賦係数を設定したところであり、その配賦基準変更に伴う影響について検証した。

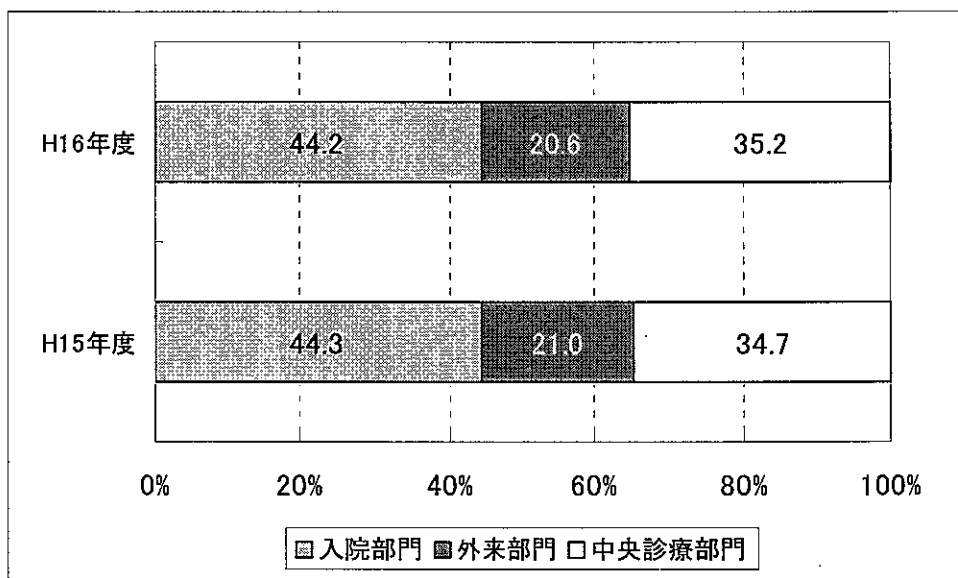
図表 3-26 平成15年度調査研究および平成16年度調査研究における二次配賦基準

部 門			配賦基準			
			平成15年度 調査研究	平成16年度 調査研究		
診療支援系	医事	給与費、材料費、経費、 委託費、研究研修費 、減価償却費	延べ患者数比率	延べ患者数比率		
		給与費、材料費、経費、 委託費、研究研修費 減価償却費		物品払出し量比率		
	情報管理	給与費、材料費、経費、 委託費、研究研修費		延べ患者数比率		
		減価償却費		端末台数比率		
	運営管理系	総務		給与費、材料費、経費、 委託費、研究研修費 、本部費、役員報酬	職員数比率	職員数比率
				減価償却費		延べ患者数比率
施設管理		給与費、材料費、経費、 委託費、研究研修費	面積比率			
		減価償却費	延べ患者数比率			
図書室		給与費、材料費、経費、 委託費、研究研修費	医師数比率			
		減価償却費	延べ患者数比率			

平成16年度に用いた二次配賦基準および平成15年度二次配賦基準における入院部門、外来部門および中央診療部門への配賦状況を、医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合により表すと以下の図表のようになる。

図表 3-27 は、二次配賦後の各部門の費用割合を9病院平均値により示したグラフであるが、いずれの場合も入院部門は約44%、外来部門は約21%であり、総体的には大きな差はみられなかった。

図表 3-27 二次配賦基準を変更した場合の配賦状況の違い
医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合



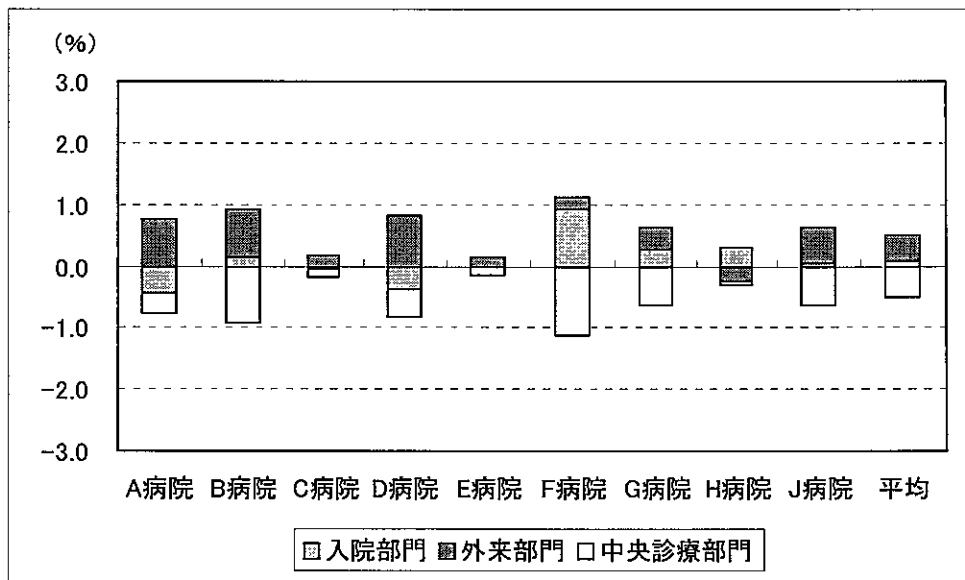
(補助・管理部門→入院部門・外来部門・中央診療部門)

図表 3-28 は、平成16年度二次配賦結果を基準とし、これと平成15年度二次配賦基準による配賦結果の差（影響度）を、病院個別に収益合計に占める割合で表したグラフである。

各病院における医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差は、最大でも、±1%程度となった。

平成15年度配賦基準の場合、中央診療部門への配賦は少なく、主として外来部門へ多く配賦されていることがわかる。これは、補助・管理部門の診療支援系部門が延べ患者数比により配賦されているため、患者が計上されない中央診療部門への配賦がなされないためである。

図表 3-28 平成15年度と平成16年度の二次配賦基準を使用した場合の影響度の比較
 医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差
 (補助・管理部門→入院部門・外来部門・中央診療部門)

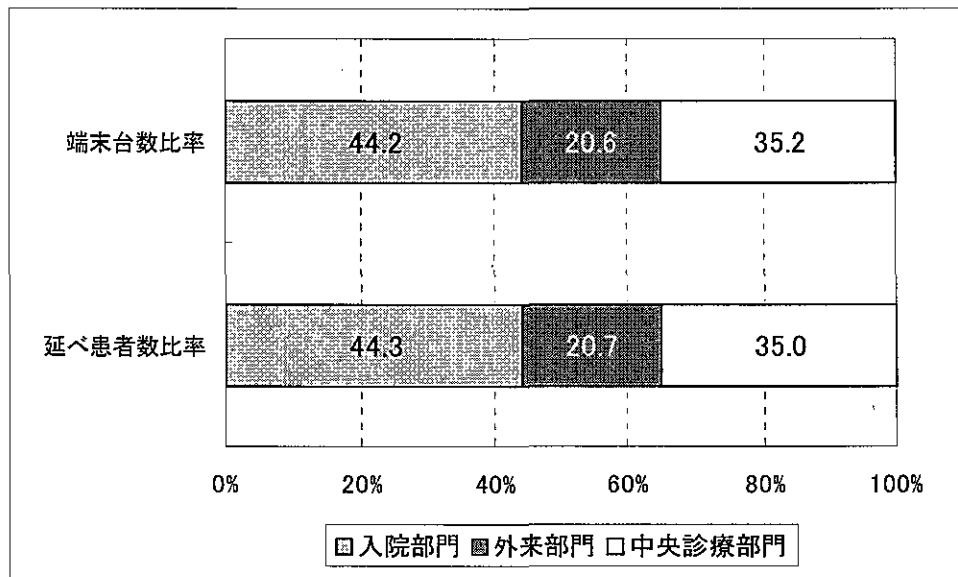


3.3.1.2. 補助・管理部門における「情報管理」の配賦基準の変更

補助・管理部門の診療支援系情報管理部門は、端末台数比率を配賦基準としているが、これを延べ患者数比率により配賦した場合の、入院部門及び外来部門、中央診療部門への配賦状況を、医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合により表すと以下の図表のようになる。

図表 3-29 は、二次配賦後の各部門の費用割合を9病院平均値により示したグラフであるが、図表 3-28 の場合と同様、いずれの場合も入院部門は約 44%、外来部門は約 21%ほどであり、大きな差が見られないことがわかる。

図表 3-29 補助・管理診療支援系情報管理部門の配賦基準を
延べ患者数比率と端末台数比率で比較した場合の配賦状況
医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合
(補助・管理部門→入院部門・外来部門・中央診療部門)

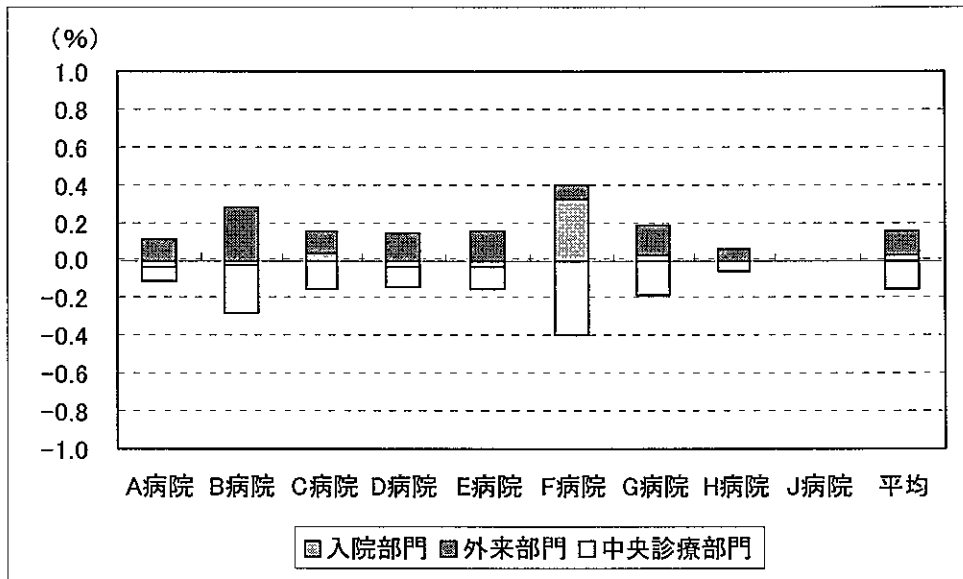


配賦状況の異なり具合（影響度）を、病院個別に割合の差として表した図表 3-30 を見ると、情報管理部門の配賦基準を延べ患者数比率とした場合は、3.3.1.1 と同様、延べ患者数比率により配賦されているがゆえに、患者が計上されない中央診療部門への配賦がなされていない。

また、F 病院については外来部門に少なく、入院部門に多く配賦されているという特徴が見られるが、これは F 病院における延べ患者数の影響、つまり外来部門の延べ患者数が非常に少ないことが反映された結果である。

また、各病院における医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差は、最大でも、±0.4%程度となった。

図表 3-30 補助・管理診療支援系情報管理部門の配賦基準を
延べ患者数比率と端末台数比率で比較した場合の影響度
医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差
(補助・管理部門→入院部門・外来部門・中央診療部門)



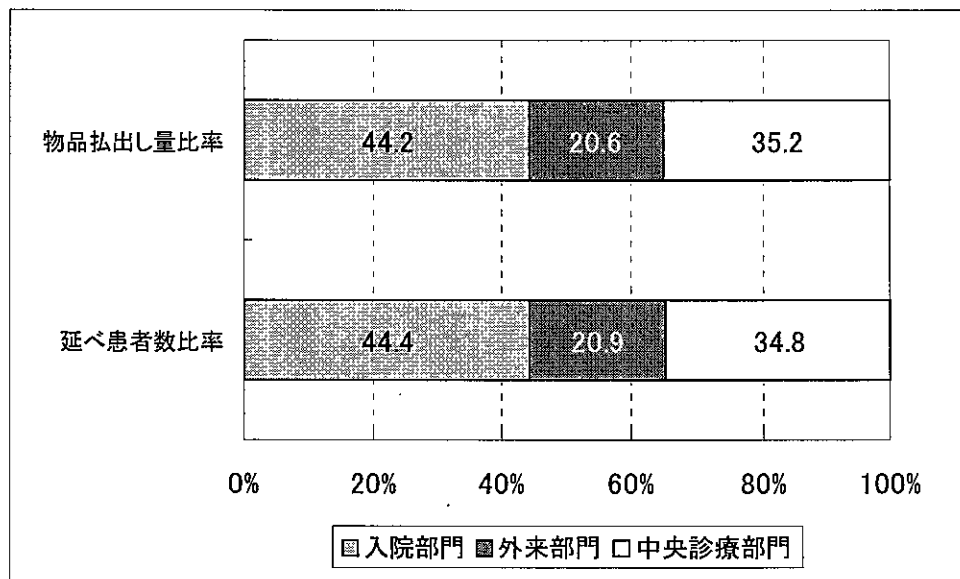
(注) J病院については、情報管理部門に一次計上されなかったため、表示無しとなっている。

3.3.1.3. 補助・管理部門の「用度」の配賦基準の変更

補助・管理部門の「用度」は、物品払出し量比率を配賦基準としているが、これを延べ患者数比率により配賦した場合の、入院部門及び外来部門、中央診療部門への配賦状況を、医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合により表すと以下の図表のようになる。

図表 3-31 は、二次配賦後の各部門の費用割合を9病院平均値により示したグラフであるが、これまでと同様に大きな差が見られないことがわかる。

図表 3-31 補助・管理診療支援系用度部門の配賦基準を延べ患者数比率と物品払出し量比率で比較した場合の配賦状況
 医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合
 (補助・管理部門→入院部門・外来部門・中央診療部門)



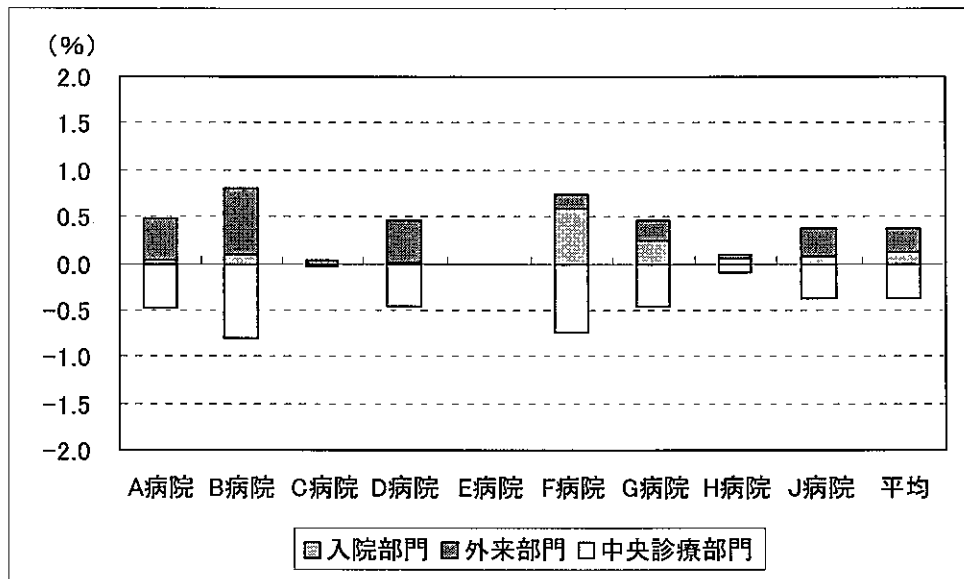
配賦状況の違い（影響度）を、病院個別に割合の差として表した図表 3-32 を見ると、用度部門の配賦基準を延べ患者数比率とした場合は、3.3.1.1 及び 3.3.1.2 と同様、延べ患者数比により配賦されているがゆえに、患者が計上されない中央診療部門への配賦がなされていない。

また、F病院における特徴についても 3.3.1.2 と同様である。

ただし、情報管理部門の場合に比較すると、配賦基準として物品払出し量比率がわずかに高い影響力を持つことがわかる。

また、各病院における医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差は、最大でも、±0.8%程度となった。

図表 3-32 補助・管理診療支援系用度部門の配賦基準を延べ患者数比率と物品払出し量比率で比較した場合の影響度
 医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差
 （補助・管理部門→入院部門・外来部門・中央診療部門）



(注) E病院については、用度部門に一次計上されなかったため、表示無しとなっている。

3.3.2. 三次配賦の基準に関する配賦方法の比較

三次配賦は、中央診療部門の費用を入院部門と外来部門の各診療科に配賦を行うステップであるが、ここでは配賦基準として平成16年度調査研究における等価係数を用いる場合とそれとは異なる点数比を用いる場合とを比較している。

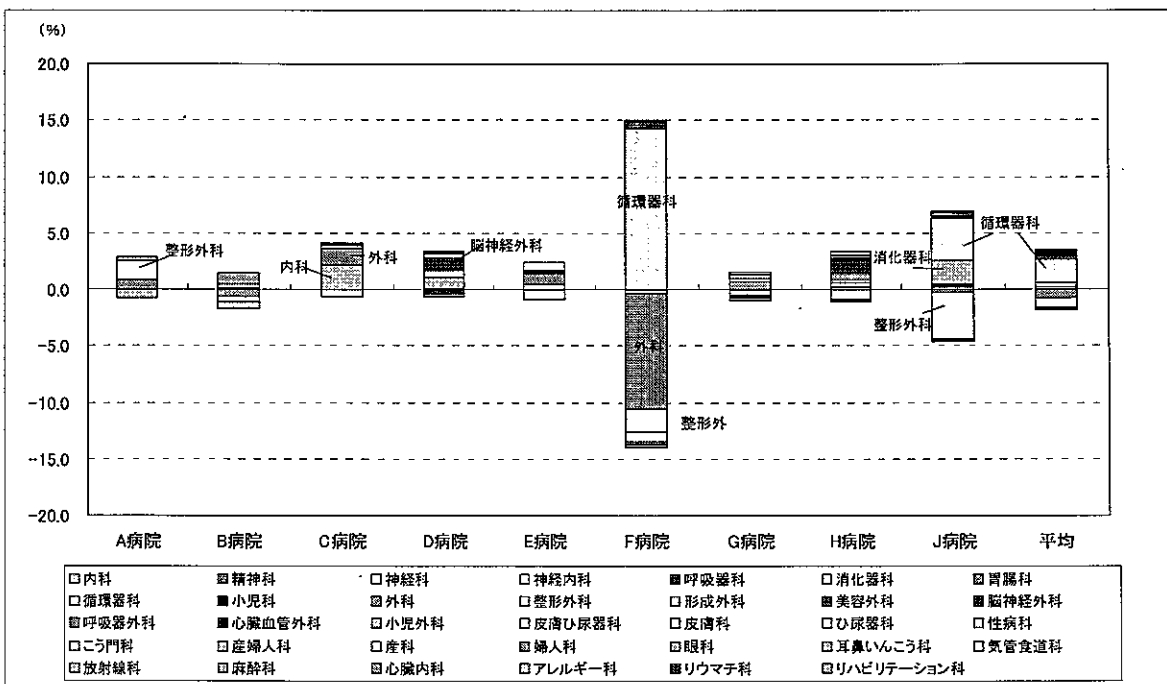
それぞれの配賦基準により配賦した場合の配賦状況の異なりを、入院部門・外来部門の診療科別に、医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合により表すと以下の図表のようになる。

入院部門における配賦状況の異なり具合（影響度）を、病院個別に割合の差として表すと図表 3-33 のようになる。F病院では、配賦基準が点数比の場合に循環器科へ多く配賦されており、逆に外科へは少なく配賦されていることがわかる。

この要因のひとつとして、手術部門における人的投入量の調査結果が点数の比と大きく乖離している可能性などが考えられる。

また、入院部門は概ねいずれの病院においても点数比による配賦の方がやや膨らむ傾向にあることがわかる。

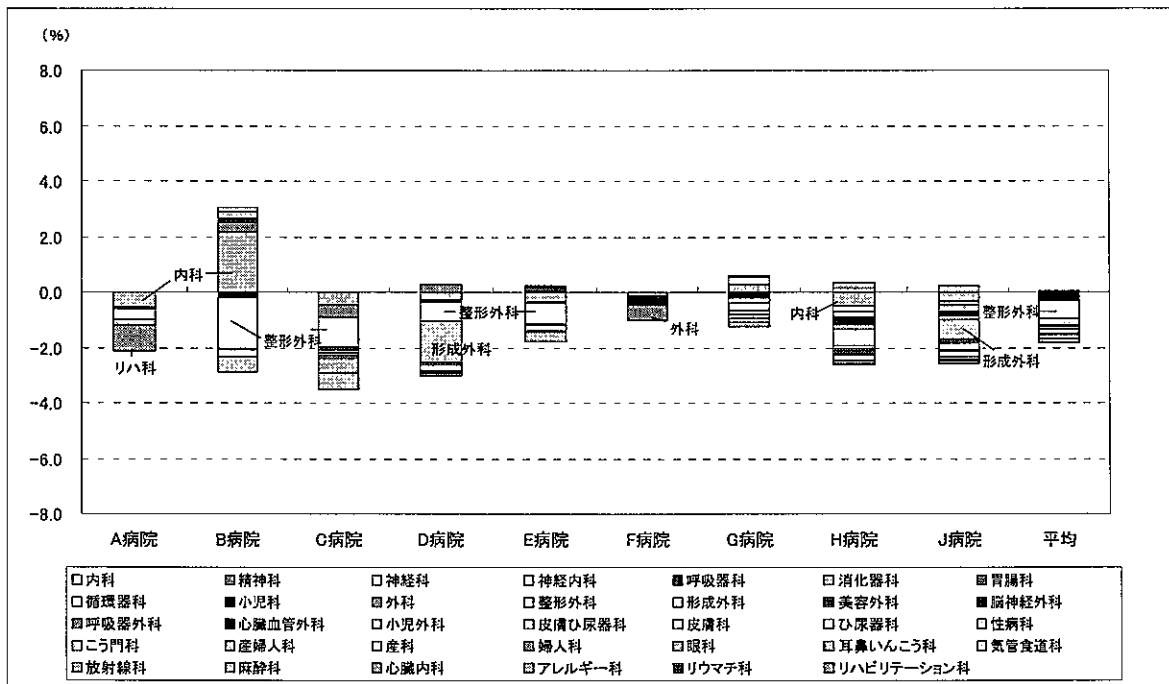
図表 3-33 三次配賦の配賦基準を点数比と等価係数で比較した場合の影響度
 医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差（入院部門）
 （中央診療部門→入院部門）



同様に、外来部門について、それぞれの配賦基準により配賦した場合の配賦状況の異なり（影響度）を、病院個別に割合の差として表した図表 3-34 を見ると、B 病院にやや特徴が見られ、増減いずれかに偏る傾向があまり見られない。

また、外来部門は概ねいずれの病院においても点数比による配賦の方がやや減少する傾向にあることがわかる。

図表 3-34 三次配賦の配賦基準を点数比と等価係数で比較した場合の影響度
 医業費用総計に対する各部門医業費用計の割合の差（外来部門）
 （中央診療部門→外来部門）



第4章 考察
